

- 基準協会の動き
- 論説 1 認証評価で得たもの
- 論説 2 ALOを経験して
- 協会から
- 日誌

基準協会の動き

大学の認証評価

令和7年度は評価校はありませんでした。

短期大学の認証評価

● 令和7年度短期大学認証評価委員会分科会で機関別評価原案を確定しました

令和7年度の短期大学認証評価につきましては、4名の評価員が一つの評価チームとなり、担当評価校の書面調査（7月～8月）及び訪問調査（9月上旬）を実施し、評価チームより担当評価校についてまとめた基準別評価票が10月31日（金）を最終締切りとし、提出されました。

短期大学認証評価委員会（志賀啓一委員長）では、11月14日（金）に短期大学認証評価委員会分科会を開催し、令和7年度評価に当たったチーム責任者と当該評価校の評価に関する概要及び基準別評価についての意見交換を行った後、意見交換の情報を踏まえて機関別評価原案の作成に取りかかりました。また同日、短期大学認証評価委員会分科会委員・アドバイザーによる検討会において機関別評価原案の作成等に関する検討課題について協議を行いました。

さらに、11月28日（金）、短期大学認証評価委員会を開催し、問題点等の協議を行い、機関別評価原案を確定しました。

機関別評価案の通知（内示）

● 令和7年度評価校へ通知（内示）しました

短期大学認証評価委員会では、12月8日（月）に短期大学認証評価委員会を開催し、分科会で作成された機関別評価原案を基に機関別評価案の協議を行いました。

さらに、12月12日（金）に開催された理事会において、令和7年度短期大学認証評価の機関別評価案が審議・承認され、同月15日（月）に令和7年度評価校へ通知（内示）しました。評価校に対して内示された機関別評価案の記載内容の判定に異議等がある場合は、令和8年1月14日（水）までに異議の申立て等を行う機会を設けました。

調査研究

● 令和7（2025）年度短期大学生調査（Tandaiseichosa）を実施しています

短期大学生調査（Tandaiseichosa）は、令和7年6月から7月までに会員短期大学へ参加を募ったところ、58校15,316人分の参加申込みがありました。その後、12月上旬まで各短期大学における調査の実施、令和8年1月下旬には参加校への集計結果の提供、3月下旬には全体集計結果の公表等のスケジュールの下に事業を進めています。

各参加校には、参加校自身のローデータ及び集計結果を提供するほか、単純集計・比較集計・クロス集計・グラフ・表作成用のテンプレート、個別レポート（申込校のみ）を提供します。また、本協会ウェブサイトを通じて、参加校全体の集計結果及び分野別集計結果の報告書を提供します。

この事業により参加校は、全体結果及び同一分野の結果との比較分析を通して自校の強み・弱み等を把握することができるなど、自己点検・評価活動への活用にも繋がります。

●令和7（2025）年度短期大学卒業生調査を実施しました

短期大学卒業生調査は、令和7年2月下旬から会員短期大学へ参加を募ったところ、27校5,189人分の参加申込みがありました。その後、8月末日までの調査の実施、9月下旬には参加校への調査結果の提供、令和7年10月下旬には全体集計結果の公表等のスケジュールの下に事業を進めてきました。

各参加校には、参加校自身のローデータのほか、単純集計及び比較集計用のグラフ・表作成テンプレートを提供します。また、本協会ウェブサイトを通じて、参加校全体の集計結果報告書を提供します。

参加校は、全体結果との比較分析を通して自校の強み・弱み等を把握することができるなど、自己点検・評価活動への活用にも繋がります。



論説 1



認証評価で得たもの

畔上一康（長野短期大学 学長）

1 はじめに

長野短期大学は、令和6年度に一般財団法人大学・短期大学基準協会（以下「基準協会」という。）による認証評価を受け、令和7年3月14日付で「適格」認定を受けました。今回の認証評価を通して、「適格」認定となった喜びとともに、これまでの短期大学運営についての認識を新たにして今後の取組みに活かしていく良い機会になったと感じています。評価員の皆様におかれましては、ご多用の中、書面調査、遠路訪問調査いただき、本学の現状と課題についてピア・レビューの姿勢で評価をいただきました。また評価活動全体の調整等、様々なご支援を賜りました基準協会事務局の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2 長野短期大学の概要と特色

本学は、昭和42年4月に学校法人家政学園長野女子短期大学として開学しました。令和5年、学校法人聖啓学園との法人合併により、学校法人長聖と改称、翌年共学化及び幼児教育学科を開設し、長野短期大学として新たにスタートしました。現在、食物栄養学科と幼児教育学科の2学科で教育活動を進めています。

本学は、長野女子短期大学開学以来、建学の精神「配慮ある愛の実践」を礎に半世紀以上

にわたって教育活動を展開してきました。この間、社会は大きく変化して、昨今登場した対話型生成AIの急速な進化、普及により産業構造や働き方、雇用市場等の大きな変化が予測される中、求められる人材も大きく変わろうとしています。本学の建学の精神「配慮ある愛の実践」は、いかに社会が変化しても人間の営みにおいて失ってはならない不易なものであり、両学科の専門分野の『食と教育』は共に私たちの生活において根源的なものであります。また両学科共に実習等、現場における臨床経験を通して「感じて分かる」という学び方も共通するところです。こうした特色を踏まえ、本学における学びは、人間の暮らしに直接還元される尊いものであることを、学生教員共々に自負して教育活動を進めています。また2年間という限られた時間の中で即戦力として活躍できる人材を育成するために、授業においては少人数のメリットを活かしたきめ細かな指導はもとより、学生と教員の教える・教えられる関係を超えた「共に在る」協働的対話的關係を基盤に、学生一人一人の主体的で豊かな学びを実現していきたいと考えています。

3 前回の認証評価後の取組み

前回の認証評価（平成29年度）では、「三

つの意見」の「(2) 向上・充実のための課題」において以下の指摘がありました。それを受けて対処し、今回の認証評価に臨みました。

(1) 基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマB 教育の効果]

「学習成果については、各専攻課程とも『卒業の認定に関する方針』の中で捉えその到達目標を示しているが、学習成果としては明示されていないので、明確にされたい。」

これを受けて、学習成果については、教育方針の中の「卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」の中で捉え「教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」「入学者受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）」とも一貫性を確保し、学生便覧及びホームページに明示し公表しました。さらに学生の学習成果の達成状況を学生自身の自己評価により把握し、可視化し点検できるようにしました。これにより、入学時から卒業時までの学習成果の測定・比較・検証が可能となり、エンロールメント・マネジメントとして一貫した活用ができるようになり、学習成果について明示することができました。

(2) 基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマA 教育課程]

①「シラバスには、授業の目標、評価方法の項目がありその内容が記載されているが、到達目標及び評価方法の具体的な割合が記載されていないので、改善が望まれる。」

これを受けて、授業担当者は、シラバスに授業の目標、評価方法の項目と共に、到達目標及び評価方法の具体的な割合を記載しました。到達目標の記載により、学生は授業を受講することの意義や最終的な目標が鮮明になり、意欲的

に学習し、また、成績評価方法と評価基準の割合が具体的に示されたことにより、探究心、授業の学びの深度が深められました。

②「学生募集要項等に入学者受け入れの方針が記載されていないので、当該短期大学が受け入れる学生及び高等学校で修得すべき学習成果を明確にすることが望ましい。」

これを受けて、学生募集要項および大学案内に「入学者受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）」を記載しました。本学が受け入れる学生及び高等学校で修得すべき学習成果を明確にすることができました。

(3) 基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマA 人的資源]

「SD活動は始まったが規程が整備されていないため、作成して組織的・継続的に行うことが望ましい。」

これを受けて、長野女子短期大学（現在長野短期大学）諸規程の中に、平成30年度に「SD（スタッフ・ディベロップメント）に関する規程」を制定しました（SD活動を開始していたことから、平成29年4月1日施行としました）。

[テーマD 財的資源]

「余裕資金は十分あるものの、学校法人全体の事業活動収支が過去3年間、短期大学部門で過去2年間、支出超過であるので、収支バランスの改善が望まれる。」

これを受けて、収入の減少は、学生数の減少が主要因であるため、令和3年度以降の生活福祉専攻の学生の募集を停止することを、令和2年3月9日開催の理事会において決定しました。生活福祉専攻の学生の募集を停止したことで、収容定員充足率は上がりました。今後も入試広報活動を活発化し、収支バランスの改善を

行っていきます。

このように、認証評価を通じて、教育の質の保証、教育の改革・改善の支援等の改善がすすめられ、認証評価の意義を大いに感じる場所となりました。

4 本学の自己点検・評価活動

本学の自己点検・評価の活動は、自己点検・評価委員会が中心となり、同委員長は学長が務めています。構成員は、「ALO（学科長）、ALO補佐（食物栄養学科）、法人事務局長、短大事務長・総務部長、教員（幼児教育科、食物栄養学科）、図書館司書です。さらに教育活動の点検や報告書の作成等は、全教職員が役割りを分担し、確認しながら毎年取り組んでいます。

5 機関別評価結果を受けて

今回の認証評価を受け、機関別評価結果において挙げられた点は下記のとおりでした。

(1) 「特に優れた試みと評価できる事項」

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマA 建学の精神]

「建学の精神を具現化するため、毎週水曜日に清掃の時間を設け、学生及び教職員が学内の教室、玄関、階段等の施設の清掃を行っている。これは、教育理念としての「心豊かな人間の育成」の成果の一つとして生かし実践している。」

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマA 教育課程]

「教養教育において、学習成果の一つである「豊かな人間性を持ち、幅広い教養」の獲得に向け、独自の教養教育科目「信濃の風土と文化」を開設して、長野県の歴史、自然、産業、文化等、地域に関わる多彩な授業内容を導入

し、郷土の誇りを守り発展させようという意識を図っている。」

(2) 「向上・充実のための課題」

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマD 財的資源]

「財務状況について、学校法人全体で過去3年間、短期大学部門で過去2年間の経常収支が支出超過となっている。今後、「事業に関する中期的な計画」等を着実に実行し、財務体質の改善を図る必要がある。

「短期大学全体の収容定員の充足率が低いので、充足率をあげるよう努力されたい。」

今回「特に優れた試みと評価できる事項」と評価された項目は、教職員一同でさらにブラッシュアップし、「向上・充実のための課題」となっている項目も定員充足に向けて、教職協働による積極的な広報戦略を展開するなど、より一層の努力をしていく計画です。

6 おわりに

これからも建学の精神を礎にして、教育と研究を可視化して内部質保証に取り組むことで、高等教育機関としての社会的責任を果たしていく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



(長野短期大学 正門)

論説 2



ALO を経験して

高桑 秀郎 (羽陽学園短期大学 幼児教育科 学科長 教授)

1 はじめに

羽陽学園短期大学は、令和6年度に一般財団法人大学・短期大学基準協会（以下「基準協会」という。）による第3評価期間の認証評価を受けました。

他の短期大学の認証評価に加わった経験はありますが、ALOとして自分の短期大学の自己点検・評価を行わなければならないということで、改めて責任の大きさを感じました。

自己点検・評価報告書については、基準協会が示してくれる評価校マニュアル等が細かいところまで説明が行き届いており、報告書を完成させるためには熟読する必要があることを実感しました。

2 認証評価を受けるまで

令和6年度の認証評価に向けて、まずは自己評価委員会で計画を立てました。

令和4年度から自己点検・評価活動のタイムスケジュールを作成し、自己評価委員会委員の間で情報を共有しました。加えて認証評価を受ける直前になっても慌てることのないように、前年度の自己点検・評価報告書をしっかり作っていくことになりました。

認証評価を受ける年度の6月には自己点検・評価報告書を完成していなくてはならないた

め、作成作業を例年より前倒しにしなければなりません。また、それに加えて、その前の年度の自己点検・評価報告書もより早く取り掛からないといけないということも視野に入れながら自己点検・評価活動を始めました。

各委員会の活動報告書等の作成については、自己点検・評価報告書の作業日程を伝えたくて、早めに作成してもらうよう、認証評価を受ける前年度から教授会で訴えかけました。また、各教員の提出書類等にも、遅れや脱落のないよう、改めて周知徹底したのも当然です。

その甲斐があり、令和6年度早々には、必要書類のほとんどをそろえることができました。事前に学内で徹底した「期限ぎりぎりにならない計画」が功を奏しました。

3 訪問調査

私自身がこれまで2回評価員として、訪問調査を行った時期はコロナ禍でしたので、オンラインでの訪問調査の経験しかしたことがありませんでした。実際に評価員の先生方を本学に招いての訪問調査ということで、準備には特に注意を払って臨みました。

本学としては、本学の教育をよく理解している2年生や専攻科の学生がいる時期に訪問を合わせてほしい旨の要望を出しましたが、そこ

は評価チームの先生方の都合との兼ね合いで実現できませんでした。

調査日は、本学が本格的な後期の学期・授業が始まる前で、2年生や専攻科の学生が実習中の、9月12、13日に決定したことから、学生インタビューは、1年次の学生に依頼することにしました。

訪問調査については評価員の宿泊先やスケジュールを確認し、基準協会事務局とも調整を進める一方で、理事長はじめ学園内の業務分担を確認しながら準備にあたりました。

面接調査では、短期大学であることの苦勞（例えば、よい教育を行っていても学生募集には苦勞していること、受験生が都市部四年制大学に流れ、学生の減によって経営の黒字化が難しくなっていることなど）を評価チームの先生方にも理解をいただき、和やかな雰囲気の中に調査が進み、評価員の方々の所属校における取組み等との比較を交え、とても貴重な意見をいただくことができました。

学生インタビューについては、「とてもいい学生さんたちですね」とのコメントをいただきました。学生を通じて、クラス担任制だけでなく、ゼミ指導教員からのきめ細かい学生指導、学生生活支援についてご理解いただけたものと思います。

訪問調査を経て、令和7年3月14日に適格認定をいただくことができました。

中でも、以下のような事項について、三つの意見の「特に優れた試みとして評価できる事項」に挙げていただいたことは、我々が常日頃大事にし、力を入れている部分であったので、とてもうれしく感じました。

「基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果」では、地

域に必要とされる人材を育成するために、地域と連携した授業・活動を複数行っていること、そのことが専門職としての能力向上に貢献していること。

また、教育目的に基づく人材育成の検証のために、毎年度「卒業生の職場アンケート」及び卒業生の就職先を訪問し、評価を口頭で聴取する「就職アフターケア」の2種類の検証方法を併用することで、地域・社会が幼児教育や介護福祉の場に求める人材の資質をより明確に把握することが可能になっていること。

「基準Ⅱ 教育課程と学生支援」では、学生の学修履歴等をまとめた「個人ポートフォリオ」を活用した学習成果の測定や、「実習ノート」を活用した指導と対話の実践などにより学習成果の獲得を支援していること。

そして「基準Ⅲ 教育資源と財的資源」では、教職員だけでなく、テーマに応じて学生も参加してのFD・SD活動を定期的に行っていることなどが評価されました。

4 ALOを経験して思うこと

全ての短期大学が学生の期待に応え学生を育てるための取り組みを懸命に実施されていますが、本学においても他の短期大学に劣ることなく全学を挙げて取り組んでいるという自負がありました。

しかし、改めて第三者から、短期大学の運営・教育は適切に行われているとの評価を受けることは、自分たちの取り組みに対して自信を持つことができました。

自分たちが大事にしていること、「学生を丁寧育てる」ことは自分たちにとっては当たり前なことでもありますが、評価チームの先生方

からそのことについて、お褒めのコメントなどをいただくと、やはりそれはとてもうれしいことであり自信に繋がります。認証評価を受けることは、自分たちの取組みについて確認やチェックを受けるばかりでなく、良い部分も改めて気づかせていただけるととても良い機会であると感じた次第です。

5 おわりに

今後も地方の短期大学は少子化の波を受けて大変な時代が続きますが、地域・社会と連携し、地域に必要とされる人材を育て、「あの短

期大学に進学したい」と思われるような教育を進めていけるよう努力していきたいと考えています。



(羽陽学園短期大学 キャンパス)

協会から

自己点検・評価の質の向上を目指して

一般財団法人大学・短期大学基準協会 理事
香蘭女子短期大学 学園長・学長
坂根 康 秀



本協会の認証評価も第4評価期間を迎え、会員校の皆様も認証評価を受けられることに慣れてこられたことと思います。また、本協会の認証評価にご協力いただいている評価員の皆様には、校務等でお忙しい中、ピア・レビューの精神でご対応いただき、心より感謝申し上げます。

本協会の認証評価は、各大学・短期大学が作成した自己点検・評価報告書等への書面調査と訪問調査に基づいて行われています。自己点検・評価は、単なる法的義務や認証評価への準備に

とどまらず、機関が持続的に発展し、社会的責任を果たすための生命線ともいえる取り組みです。とりわけ、VUCA（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）の時代において、大学・短期大学が社会の要請に応え、真に価値ある教育・研究や地域貢献を提供し続けるためには、絶えず自らを問い、改善を繰り返すサイクルが不可欠です。

大学・短期大学には「内部質保証」が求められています。これは、自らの教育・研究・地域

貢献・運営などの質を継続的に点検・改善する仕組みを指します。本協会でも第3評価期間から「内部質保証ルーブリック」を整備し、認証評価に活用しています。私も短期大学の認証評価に携わるなかで、大多数の短期大学が大変精力的に内部質保証に取り組んでおり、そのレベルも全体として向上していると感じています。各短期大学が実践されている内容を見ると、特に教育面や地域貢献に関して参考となる事例が数多くあり、それらは本協会の認証評価結果の「特に優れた試みと評価できる事項」に記載していますので、是非ご参照いただければ幸いです。

一方で、残念ながら一部の短期大学においては、自己点検・評価が「事務作業」として扱われ、資料作成に重点を置き形式的なチェックに終始することで「形骸化」しているのではないかと懸念しています。「認証評価に合格すること」が目的化し、本来の目的である教育・研究活動の質向上が見失われてしまうケースがないか、老婆心ながら心配しているところです。こうした状況では、評価結果が現場の改善活動に結び付かず、評価の意義が損なわれてしまいます。

特に短期大学では、限られた教職員数で多岐に渡る業務を担わなければなりません。そのため、このような事態を防ぐべく、本協会としても従来から認証評価の負担軽減に向けた方策を検討してきておりますが、情報化の進展に伴い、ハード面ではテクノロジーを活用した情報収集・分析の効率化（データベース整備やAIによる文書整理など）を進めることも有用であり、ソフト面からは教職員が「評価の専門家」ではなく「教育改善の担い手」として評価を捉えら

れるよう、評価手法やデータ分析の研修を充実させることも有効だと考えます。

自己点検・評価の質の向上は、決して容易な道ではありません。しかし、それは高等教育機関の未来、そしてそこで学ぶ学生の未来を拓くための、最も重要で価値ある投資です。形式的な義務感を超え、「我が校の強みは何か」「社会にどのような価値を提供すべきか」といった本質的な問いを、教職員が一体となって追求する文化が育つことを願っています。

全ての関係者の皆様が、自己点検・評価を「改善への挑戦」と捉え、情熱をもって取り組んでくださることを心より期待しております。



日誌

令和6年度（令和7年1月～令和7年3月）

◇理事会

第63回 令和7年2月21日（金）

オンライン会議

議事

1. 令和6年度大学認証評価 機関別評価案（条件付きA）の改善報告等について
2. 令和6年度大学認証評価 機関別評価案（内示）に対する意見申立てについて
3. 令和6年度大学認証評価結果報告書について
4. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案（条件付きA）の改善報告等について
5. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案（内示）に対する異議申立てについて
6. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案（内示）に対する意見申立てについて
7. 令和6年度短期大学認証評価結果報告書について
8. 広報委員会の次期委員候補者及び委員長について
9. 令和7年度会議日程について

第64回 令和7年3月14日（金）

オンライン会議

議事

1. 令和6年度大学認証評価に係る機関別評価結果の決定について
2. 令和6年度短期大学認証評価に係る機関別評価結果の決定について
3. 令和7年度事業計画について
4. 令和7年度収支予算について

◇大学認証評価委員会

第32回 令和7年1月29日（水）

オンライン会議

議事

1. 令和6年度大学認証評価 機関別評価案（条件付きA）の大学の改善報告について
2. 令和6年度大学認証評価 機関別評価案（内示）に対する意見申立てについて
3. 令和6年度大学認証評価結果報告書（説明部分）について
4. 令和7年度会議等予定について

第33回 令和7年2月20日（木）

オンライン会議

議事

1. 令和6年度大学認証評価 機関別評価案（条件付きA）について
2. 令和6年度大学認証評価結果の通知について
3. 令和6年度大学認証評価結果報告書について
4. 令和6年度大学認証評価 評価校アンケートについて
5. 令和7年度会議等予定について

第34回 令和7年3月10日（月）

オンライン会議

議事

1. 令和6年度認証評価結果の公表について
2. 令和6年度大学認証評価の振り返りについて
3. よくある質問（FAQ）について
4. 令和6年度基準別評価票に寄せられた評価チームの意見等について

◇短期大学認証評価委員会

第182回 令和7年1月29日（水）

オンライン会議

議事

1. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案（条件付きA）の短期大学の改善計画・報告について

2. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案 (内示) に対する異議申立てについて
3. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案 (内示) に対する意見申立てについて
4. 令和6年度短期大学認証評価結果報告書 (説明部分) について
5. 令和7年度会議等予定について

第183回 令和7年2月20日 (木)

オンライン会議

議事

1. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案 (条件付きA) について
2. 令和6年度短期大学認証評価結果の通知について
3. 令和6年度短期大学認証評価結果報告書 (説明部分) について
4. 令和6年度短期大学認証評価 評価校アンケートについて

第184回 令和7年3月10日 (月)

オンライン会議

1. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案 (条件付きA) の短期大学の改善報告について
2. 令和6年度認証評価結果の公表について
3. 令和6年度短期大学認証評価の振り返りについて
4. よくある質問 (FAQ) について
5. 令和6年度基準別評価票に寄せられた評価チームの意見等について

◇短期大学認証評価委員会小委員会

第185回 令和7年1月29日 (水)

オンライン会議

議事

1. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案 (条件付きA) の短期大学の改善計画・報告について
2. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案 (内示) に対する異議申立てについて
3. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案

(内示) に対する意見申立てについて

4. 令和6年度短期大学認証評価結果報告書 (説明部分) について
5. 令和7年度会議等予定について

第186回 令和7年2月20日 (木)

オンライン会議

議事

1. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案 (条件付きA) について
2. 令和6年度短期大学認証評価結果の通知について
3. 令和6年度短期大学認証評価結果報告書 (説明部分) について
4. 令和6年度短期大学認証評価 評価校アンケートについて

第187回 令和7年3月10日 (月)

オンライン会議

議事

1. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案 (条件付きA) の短期大学の改善報告について
2. 令和6年度認証評価結果の公表について
3. 令和6年度短期大学認証評価の振り返りについて
4. よくある質問 (FAQ) について
5. 令和6年度基準別評価票に寄せられた評価チームの意見等について
6. 第4評価期間の評価様式等の改定について

◇認証評価審査委員会

第1回 令和7年2月5日 (木)

書面審議

議事

1. 令和6年度短期大学認証評価 機関別評価案 (内示) に対する異議申立てについて

◇調査研究委員会

第51回 令和7年3月25日 (火)

オンライン会議

議事

1. 学習成果の獲得状況の可視化手法等について
2. 短期大学生調査 (Tandaiseichosa) について

◇広報委員会

第 72 回 令和 7 年 1 月 17 日 (金)

書面審議

議事

1. NEWS LETTER 第 101 号発行について
2. NEWS LETTER 第 102 号編集について
3. 令和 7 年度広報委員会開催日程 (案) について

令和 7 年度 (令和 7 年 4 月～令和 7 年 12 月)

◇理事会

第 65 回 令和 7 年 5 月 22 日 (木)

オンライン会議

議事

1. 評議員会の招集について
2. 役員候補者の推薦について
3. 令和 8 年度認証評価実施要領について
4. 令和 6 年度事業報告について
5. 令和 6 年度決算報告書について
6. 退会希望短期大学について
7. 認証評価審査委員会委員の補充について
8. 自己点検・評価委員会委員の補充について
9. 入会希望大学について

第 66 回 令和 7 年 9 月 18 日 (木)

オンライン会議

議事

1. 第 4 評価期間 大学機関別評価結果フォーマットの改定について
2. 第 4 評価期間 短期大学機関別評価結果フォーマットの改定について
3. 令和 8 年度大学認証評価 評価校について
4. 令和 8 年度大学認証評価の実施に伴う評価員について
5. 令和 8 年度短期大学認証評価 評価校について

6. 令和 8 年度短期大学認証評価の実施に伴う評価員について
7. 本協会の自己点検・評価報告書について
8. 入会希望大学の承認について

第 67 回 令和 7 年 12 月 12 日 (金)

オンライン会議

議事

1. 第 4 評価期間 大学・短期大学機関別評価結果フォーマット (令和 7 年 9 月 18 日理事会決定) の修正について
2. 令和 7 年度短期大学認証評価機関別評価案の内示について
3. 一般財団法人大学・短期大学基準協会会員規程の一部改正について

◇評議員会

第 14 回 令和 7 年 6 月 20 日 (金)

オンライン会議

議事

1. 議長の選出について
2. 理事の選任について
3. 令和 6 年度事業報告について
4. 令和 6 年度決算報告書について

◇大学認証評価委員会

第 35 回 令和 7 年 5 月 15 日 (木)

オンライン会議

議事

1. 令和 8 年度大学認証評価実施要領の制定について
2. 令和 8 年度大学認証評価の実施通知について
3. 大学認証評価 評価校マニュアルの改定について

第 36 回 令和 7 年 6 月 19 日 (木)

オンライン会議

議事

1. 大学認証評価要綱の改定について

2. 令和8年度大学認証評価説明会について
3. 第4評価期間の財的資源の評価の考え方について
4. (令和8年度用) 評価校マニュアル(案)
5. 令和6年度大学認証評価 評価校アンケート結果について

第37回 令和7年7月17日(木)

オンライン会議

議事

1. 第4評価期間(令和7年度用)大学認証評価 関係様式の改定について
2. (令和8年度用) 評価校マニュアル

第38回 令和7年9月17日(水)

オンライン会議

議事

1. 第4評価期間 機関別評価フォーマットの改定について
2. 令和8年度大学認証評価 評価校について
3. 令和8年度大学認証評価 評価員について
4. 令和8年度主要会議等日程について

◇短期大学認証評価委員会

第185回 令和7年4月17日(木)

オンライン会議

議事

1. 令和8年度短期大学認証評価実施要領の制定について
2. 令和8年度短期大学認証評価の実施通知について
3. 第4評価期間(令和7年度用)短期大学認証評価 関係様式等の改定について
4. 短期大学認証評価 評価員マニュアルの改定について
5. 令和7年度評価チーム打合せについて
6. 令和7年度短期大学認証評価委員会分科会 関係日程等について

第186回 令和7年5月15日(木)

オンライン会議

議事

1. 短期大学認証評価 基準別評価の考え方の改定について
2. 短期大学認証評価 評価校マニュアルの改定について
3. 短期大学認証評価要綱の改定について

第187回 令和7年6月19日(木)

オンライン会議

議事

1. 令和8年度短期大学認証評価 ALO 対象説明会について
2. 短期大学認証評価 評価校マニュアルの改定について
3. 第4評価期間の財的資源の評価の考え方について
4. 令和6年度短期大学認証評価 評価校アンケート結果について

第188回 令和7年7月17日(木)

オンライン会議

議事

1. 令和7年度評価校の教員組織の課題について
2. 令和7年度評価校の財務に関する課題について
3. 評価校マニュアル(令和8年度用)の一部修正について

第189回 令和7年9月18日(月)

オンライン会議

議事

1. 令和8年度短期大学認証評価 評価校について
2. 令和8年度短期大学認証評価 評価員について
3. 第4評価期間 機関別評価フォーマットの改定について
4. 令和7年度短期大学認証評価について
5. 令和7年度短期大学認証評価委員会分科会について
6. 令和7年度機関別評価案作成上の課題対応

メモについて

7. 令和8年度主要会議等日程について

短期大学認証評価委員会 分科会・意見交換会

令和7年11月14日(金)

オンライン会議

議事

1. チーム責任者と意見交換及び機関別評価原案作成について

令和7年度短期大学認証評価委員会

分科会委員・アドバイザーによる検討会

令和7年11月14日(金)

オンライン会議

議事

1. 令和7年度短期大学認証評価委員会分科会(意見交換会)による検討課題について

第190回 短期大学認証評価委員会

令和7年11月28日(金)

オンライン会議

議事

1. 分科会委員・アドバイザーによる検討会(11月14日)で提案された検討事項について
2. 機関別評価原案について

第191回 短期大学認証評価委員会

令和7年12月8日(月)

オンライン会議

議事

1. 令和7年度財的資源に関する記述等について
2. 令和7年度短期大学認証評価 機関別評価案について
3. 令和7年度短期大学認証評価 機関別評価案の通知(内示)について
4. 第4評価期間 短期大学評価基準改定に伴う自己点検・評価の留意点について

◇短期大学認証評価委員会小委員会

第188回 令和7年4月17日(木)

オンライン会議

議事

1. 令和8年度短期大学認証評価実施要領の制定について
2. 令和8年度短期大学認証評価の実施通知について
3. 第4評価期間(令和7年度用)短期大学認証評価 関係様式等の改定について
4. 短期大学認証評価 評価員マニュアルの改定について
5. 令和7年度評価チーム打合せについて
6. 令和7年度短期大学認証評価委員会分科会 関係日程等について

第189回 令和7年5月15日(木)

オンライン会議

議事

1. 短期大学認証評価 基準別評価の考え方の改定について
2. 短期大学認証評価 評価校マニュアルの改定について
3. 短期大学認証評価要綱の改定について

第190回 令和7年6月19日(木)

オンライン会議

議事

1. 令和8年度短期大学認証評価 ALO 対象説明会について
2. 短期大学認証評価 評価校マニュアルの改定について
3. 第4評価期間の財的資源の評価の考え方について
4. 令和6年度短期大学認証評価 評価校アンケート結果について

第191回 令和7年7月17日(木)

オンライン会議

議事

1. 令和7年度評価校の教員組織の課題について
2. 令和7年度評価校の財務に関する課題について

3. 評価校マニュアル（令和8年度用）の一部修正について

第192回 令和7年9月18日（木）

オンライン会議

議事

1. 令和8年度短期大学認証評価 評価校について
2. 令和8年度短期大学認証評価 評価員について
3. 第4評価期間 機関別評価結果フォーマットの改定について
4. 令和7年度短期大学認証評価について
5. 令和7年度短期大学認証評価委員会分科会について
6. 令和7年度機関別評価案作成上の課題対応メモについて
7. 令和8年度主要会議等日程について

第193回 令和7年12月8日（月）

オンライン会議

議事

1. 令和7年度 財的資源に関する記述等について
2. 令和7年度短期大学認証評価 機関別評価案について
3. 令和7年度短期大学認証評価 機関別評価案の通知（内示）について
4. 第4評価期間 短期大学評価基準改定に伴う自己点検・評価の留意点について

◇短期大学認証評価委員会財務部会

第1回 令和7年7月16日（水）

オンライン会議

議事

1. 令和7年度財的資源の評価について
2. 令和7年度評価校の財務状況について
3. チーム責任者への連絡文書案について

第2回 令和7年10月8日（水）～10月14日（火）

書面審議

議事

1. 分科会への連絡文書について
2. 令和7年度「財的資源」の財務部会としての判定について
3. 分科会関係資料について

◇調査研究委員会

第52回 令和7年6月5日（木）～6月11日（水）

書面審議

議事

1. 2025年度短期大学卒業生調査について
2. 2025年度短期大学生調査（*Tandaiseichosa*）について

第53回 令和7年9月2日（火）

オンライン会議

議事

1. 学習成果の獲得状況の可視化手法等について【再開の決定】
2. 短期大学生調査（*Tandaiseichosa*）について
3. 短期大学卒業生調査について
4. 第54回調査研究委員会日程について

◇広報委員会

第73回 令和7年4月24日（木）

書面審議

議事

1. 令和7年度広報委員会開催日程について
2. NEWS LETTER 第102号発行について
3. NEWS LETTER 第103号編集について
4. 協会概要（パンフレット）の改定について
5. 協会ウェブサイトの改修等について

第74回 令和7年9月19日（金）

書面審議

議事

1. NEWS LETTER 第103号発行について
2. NEWS LETTER 第104号編集について
3. 協会概要（パンフレット）（2025年9月改定版）について

4. 協会ウェブサイト英語翻訳について

◇令和7年度短期大学認証評価 評価員研修会及び
評価チーム打合せ

令和7年7月10日(木)

オンライン開催

(内容)

1. 書面調査・訪問調査等の留意事項について
2. 事務的な連絡事項について
3. 評価校提出の資料等について
4. 評価チーム打合せ

◇令和8年度大学認証評価説明会

令和7年8月22日(金) オンライン開催

(プログラム)

1. 大学評価基準及び内部質保証ルーブリック等
について
2. 自己点検・評価に当たっての留意点(「三つ
の意見」の事例を中心に)

3. 私立学校法改正に伴う自己点検・評価の際の
留意点

4. 事務的な留意事項について

5. 提出書類、訪問調査等の留意事項について

6. 質疑応答

◇令和8年度短期大学認証評価 ALO 対象説明会

令和7年8月26日(火) オンライン開催

(プログラム)

1. 短期大学評価基準及び内部質保証ルーブリック
等について
2. 自己点検・評価に当たっての留意点(「三つ
の意見」の事例を中心に)
3. 私立学校法改正に伴う自己点検・評価の際の
留意点
4. 事務的な留意事項について
5. 提出書類、訪問調査等の留意事項について
6. 質疑応答

編集後記

ある短期大学が専攻科の募集停止を発表したところ、短期大学全体を募集停止するような誤った記事が報道されてしまったということがありました。この記事はAIを利用して作成されたとの情報がありますが、この情報が正しいとして、記者の確認不足をAIの責任に転換することは極めて問題です。

最近のAIの進歩は著しく、ある程度条件を入れるとまともな文章をアウトプットしてくれるようになりました。しかし中身はインターネット情報の寄せ集めなのでアウトプットされた全てが必ずしも正しいとは限りません。AIを利用することは良いことだと思いますが、AIはまだ完璧な文章をアウトプットできませんので、皆様もAIを利用した際には文体だけでなく内容についても一度確認されることをお勧めします。

ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック(第25回オリンピック冬季競技大会)が開幕しました。嬉しいことに日本人選手のメダル獲得のニュースが毎日のように流れています。(執筆時点)

募集停止・廃止など暗いニュースが多い学校業界にも、何か明るいニュースがあることを願っています。(N・A)

編集・発行

一般財団法人大学・短期大学基準協会 広報委員会
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-11
第2星光ビル6階

Tel. 03-3261-3594 Fax. 03-3261-8954

E-mail: jimukyoku@jaca.or.jp

URL: <https://www.jaca.or.jp/>